

平和のための写真展 2015

「基地と戦争 — 沖縄・濟州島・経ヶ岬 —」

教会は人間のいのちと尊厳に関する問題に沈黙できない

—戦後70年 司教団メッセージより—

第二次大戦が終わってから70年目の夏が近づいてきました。
その後日本国内での戦争はありませんが、今もなお、日本を含む世界各地に、住民の意に反して軍事基地が建設されています。

「国民の生命と自由、幸福追求権を守るため」に軍隊や基地が必要なら、基地周辺の住民の生命と自由、幸福追求権が犠牲になるのは仕方がないことなのでしょうか。

基地周辺の住民の方々の悲しみや苦しみに思いをはせながら、基地のもたらす「戦争」と「平和」について、写真やビデオ、報道記事等を通し、今一度考えてみたいと思います。多くの方のご来場をお待ちしています。



日 時: 2015年8月1日(土) 午後4時～8時

8月2日(日) 午前7時30分～午後3時まで

会 場: カトリック河原町教会 地下「ヴィリオンホール」

(京都市中京区河原町三条上ル東側 京都ロイヤルホテル&スパ南隣)

入 場: 無料

【展示】

- ・ 「辺野古の海と生き物」牧志治さん
- ・ 濟州島「基地と海と祈り」
- ・ 経ヶ岬・戦時中の報道等
- ・ ドキュメンタリー映画「辺野古」

【講演】 2日 13時～ 「辺野古・大浦湾の自然～基地ではなくジュゴンの保護地を～」

講師: 向井宏さん(海の生き物守る会代表・京都大学特任教授)

主 催: 京都教区カトリック正義と平和協議会

お問い合わせ: 075-223-2291